

ケンブリッジ英語検定 4 技能 CBT

リンガスキル

受検の手引き



Authorised Exam Centre



認定試験センター (JP026)

Linguaskill

リンガスキルは、ケンブリッジ大学英語検定機構が開発した英語レベルを迅速にチェックできるオンライン英語能力テストです。テスト結果レポートは、CEFR レベルとともに、Cambridge English スケールのスコアでも示されます。

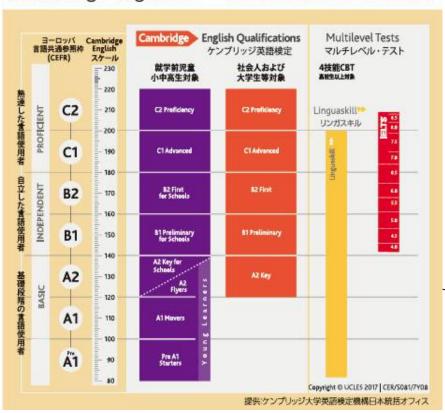


リスニング・リーディングテストはアダプティブ方式で、受検者の解答によって問題が変わっていきます。受 検者が正解を続けるとテストの内容は難しく、間違いが多くなるとテストの内容が易しくなり、受検者の適正 なレベルへと調節されます。

<ポイント>

- ●技能別の CEFR レベルが分かる
- ●リスニング・リーディングはアダプティブ方式
- ●信頼できる試験結果~ケンブリッジ大学英語検定機構による開発

〈Cambridge Englishスケールと各試験のスコア比較表〉



リンガスキルは CEFR Pre A1 から C1 までカバー

1. はじめに ~受検に際しての留意点~

リンガスキルはオンライン型の英語 4 技能テストです。 受検にあたり、 知っておいていただきたいことは以下のとおりです。

■試験全体を通して

- ・試験開始後は、PC画面上の指示に従ってPCを操作し、各自が試験を進めます。
- ・PC の操作方法、マイク・ヘッドホンの設定、キーボード入力について不明点があれば、試験監督に質問することができます。
- ・試験中に PC が固まった場合、ブラウザの×をクリックして一度試験画面を閉じ、Candidate Login Information を見ながら再度試験画面を開いてください。
- ・入力済みの解答は基本的に1分ごとに保存されています。問題の解答途中で中断した場合は、その問題の一番初めに戻りますので、落ち着いて解答を再開してください。

■ Speaking

- ・マイク付きヘッドセットを使用し、PC に向かって話します。
- ・声が小さいと採点できないことがあるので、大きな声で話してください。
- ・問題を聞く時間、考える時間、答える時間があります。必ずピーという音がしてから話してください。

■ Writina

- ・PC 画面上でシートを切替えて、2 つの問題に解答します。
- ・制限時間は45分ですが、早く解答を終了した場合は45分を待たずに試験を終了することができます。
- ・時間配分は受検者の自由です。
- ・一度解答を提出したあとは戻ることはできませんのでご注意ください。

■ Listening&Reading

- ・受検者の解答によって、次の問題や全体の問題数が変わります。
- ・終了時間は受検者によって異なります。
- ・Listening は自分で再生ボタンをクリックして音声を2度聞くことができます。
- ・Listening 試験後に、続けて Reading 試験が始まります。
- ・Readingでは、同じ穴埋め問題でも、記述式と選択式があるので、解答時には形式にご注意ください。

2. Speaking

概要

■試験時間:約15分

はじめにマイクとヘッドセットの動作確認をした後で、スピーキングテストが始まります。スピーキングテストにはパートが5つあります。

パート	測定されるスキル	出題内容
1. インタビュー	日常生活、現状、過去の経験、 将来について質問に応答する能 カ	8 題出題。最初の問題 4 題は 10 秒、残り 4 題は 20 秒の録音時間が 与えられる。
2. 文章読み上げ	英語で書かれたセンテンスを適 切に読み、発音をする能力	8 題出題。画面に 1 センテンスずつ表示され、10 秒の読み上げる時間が与えられる。
3. プレゼンテーション	与えられたトピックに関して、 長めに話す能力。展開・構成を まとめ、考えを分かりやすく伝 える。	トピックとそのトピックに関連した 3 つの論点が与えられる。 問題を読み、解答の準備をする時間が 40 秒与えられ、その後 1 分間でトピックや論点について話す。
4. 絵や情報を見ながら 友人に留守番電話メッセー ジを残す。	簡単な図/グラフを見て、分かりやすく理路整然と長く話す能力	友人から求められたアドバイスに答える。 地図/チャート/表などの視覚情報と問題を見て、解答の準備をする時間が 1 分間与えられる。その後友人に留守番電話にメッセージを残すという形式でトピックや視覚情報について 1 分間話す。
5. コミュニケーションア クティビティ	与えられた状況で意見や考えを 表現する能力	ある状況と 5 つの指示が画面に表示され、トピックについて考える時間が 40 秒与えられる。問題は 5 題あり、それぞれ解答する時間が 20 秒ずつ与えられる。

スピーキングテストのトピックの例:

将来の計画について/旅行や休暇/スポーツ/余暇や趣味/音楽/英語学習について/勉強・仕事/家について/家族や 友人/ショッピング/テクノロジー/ある場所や名所について

(1) Speaking Part 1

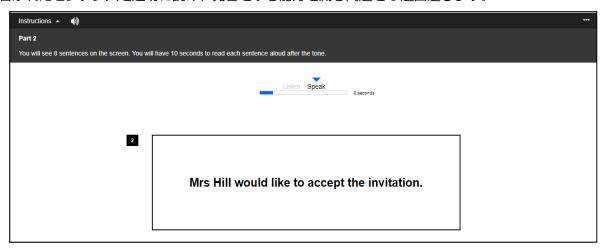
日常生活、現状、過去の経験、将来について質問に応答する能力を測る問題を8題出題します。

く受検のヒント>

- □最初の2つの質問は採点されていません。練習になります。
- □応答は一言で返すのではなく、可能な限り、さまざまな語彙や構文を使用して答えるよう心掛けましょう。

(2) Speaking Part2

英語で書かれたセンテンスを適切に読み、発音をする能力を測る問題を8題出題します。

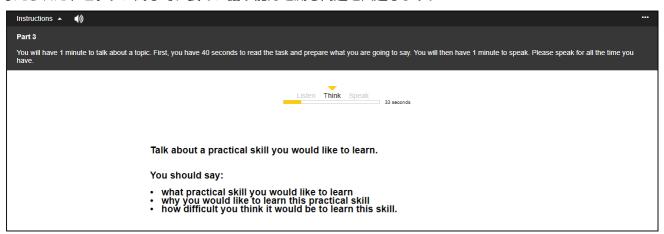


<受検のヒント>

- 口文章をできるだけ自然に、正しい発音で読み上げるようにしましょう。
- □それぞれの文章を2回以上読み上げる必要はありません。

(3) Speaking Part3

与えられたトピックに関して、長めに話す能力を測る問題を出題します。

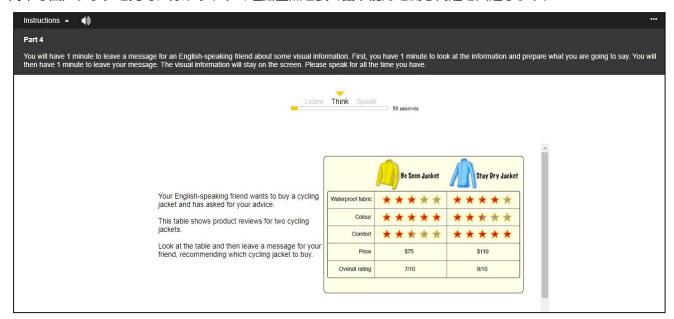


く受検のヒント>

- □ 「Think」 に矢印が来ている準備時間 40秒) で回答内容を考えるようにしましょう。鉛筆とメモを使って、発言する内容のポイントを書き留めておくと便利です。
- □展開・構成をまとめ、考えを分かりやすく伝えましょう。

(4) Speaking Part4

簡単な図/グラフを見て、分かりやすく理路整然と長く話す能力を測る問題を出題します。

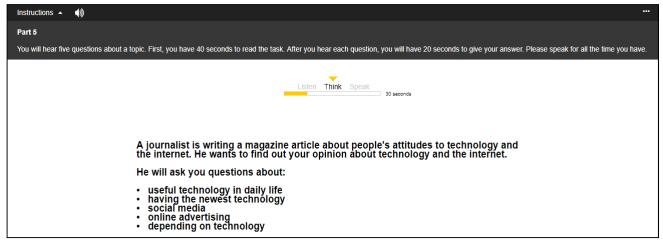


く受検のヒント>

- □図表等が示されますが、全ての情報を伝えようとする必要はありません。質問のポイントに沿って、重要な ことだけを選んで話すよう心掛けましょう。
- □質問にできるだけ答えるようにしてください。ポイントを絞って、例をあげたり、語彙を多く使って答えた りするとより良いでしょう。
- □ 「Think」に矢印が来ている準備時間 40秒)で回答内容を考えるようにしましょう。鉛筆とメモを使って、発言する内容のポイントを書き留めておくと便利です。

(5) Speaking Part5

与えられた状況で意見や考えを表現する能力を測る問題を出題します。



く受検のヒント>

- □質問にはできるだけ答えるようにしてください。 ポイントを絞って、例をあげたり、語彙を多く使って答え たりするとより良いでしょう。
- □「Think」に矢印が来ている準備時間(40 秒間)で、箇条書きされているポイントを確認し、トピック、考えられる質問、語彙について予測してみることも有効です。鉛筆とメモを使って、発言する内容のポイントを書き留めておくと便利です。

3. Writing

概要

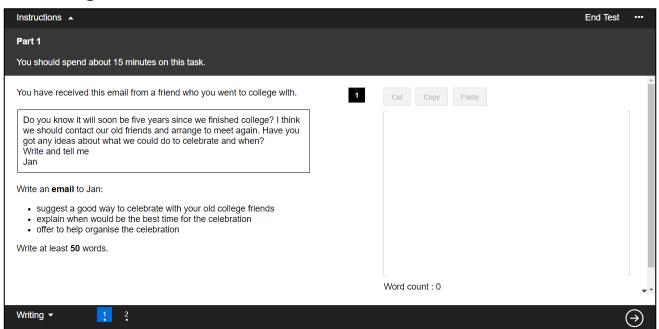
■試験時間:約45分

ライティングテストにはパートが 2 つあり、試験時間は 45 分です。試験中は、パート 1・2 間を行ったり戻ったりしても構いません。時間配分は自由ですが、目安はパート 1 に 15 分、パート 2 に 30 分間です。

	出題内容		
パート1	共通の情報や背景を持つ人物からの、3 つの質問を含む E メールに返答をします。		
パート 2	より広範囲の読み手に向けた、レビューや記事、フォーマルな手紙などを 180 words 以上で書きます。		

- ・問題を注意深く読み、回答を作成する方法を検討してください。回答を書き始める前に、メモに回答のポイントやアイデアをリストアップすることをお勧めします。
- ・2 問とも単語数の上限はないので、できるだけ多く書くようにしてください。ライティングの能力を最大限生かすチャンスです。試験時間内はパート1とパート2間を行き来して、文章を変更または追加できます。
- ・スペルチェックの機能はないため、 最後に時間があれば、もう一度スペルミス、スペース、フルストップ、 大文字、小文字のチェックをしてください。

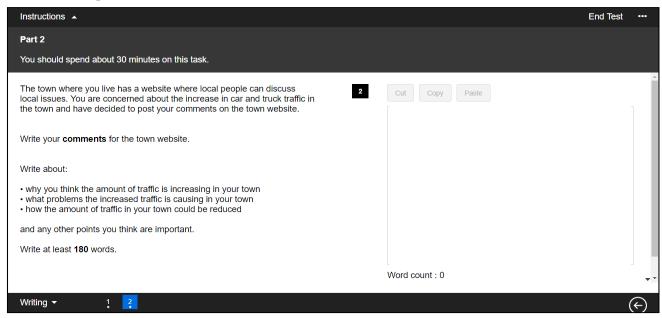
(1) Writing Part1



く受検のヒント>

- ロパート1の解答時間の目安は約15分です。
- □箇条書きされているポイントをまじえて、文章を構成してください。例としては、自分の意見の理由、または説明を記述することで文章の幅が広がります。可能な場合、さまざまな語彙、構文など使用してください。
- ロメールの冒頭にメールアドレスや件名の入力は必要ありません。「Dear / Hi / Hello…」のような冒頭からメールを開始できます。

(2) Writing Part2



く受検のヒント>

- □パート2の解答時間の目安は約30分です。
- □箇条書きされているポイントをまじえて、文章を構成してください。例としては、自分の意見の理由、または説明を記述することで文章の幅が広がります。可能な場合、さまざまな語彙、構文など使用してください。
- 口問題の箇条書きに加えて、問題に関連性がある内容であれば、色々なアイデアを盛り込んで記述できます。

4. Listening & Reading

概要

■試験時間:約60分~85分

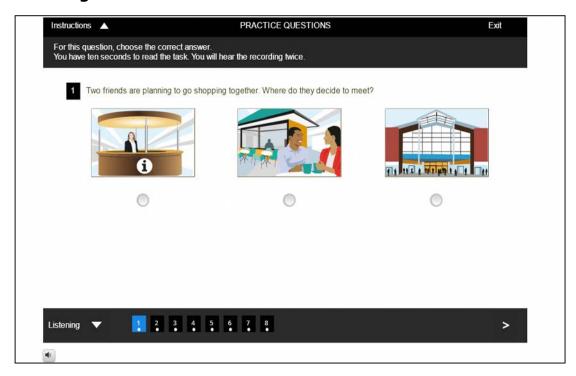
- ・Listening & Reading はアダプティブテストです。簡単な質問もあれば、難しい質問もあり、コンピュータが受検者の回答に基づいて次の質問を選択します。受検者によって終了時間が異なります。
- ・まずリスニングテストが始まり、その後に続けてリーディングテストが始まります。

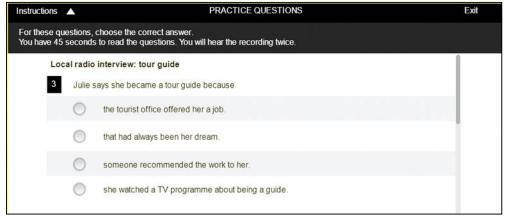
Listening	Listen and Select	短めの音声を聞き、3つの選択肢の中から適切なものを選びます。
	長文リスニング	長めの読み上げ文を聞いて、選択問題に答えます。問題は、聞 <i>こ</i> えてきた情報にそって出題されます。
Reading	Read and Select	掲示、表、ラベル、メモ、手紙などの短い文章を読み、その文章の意味するところに最も近いセンテンス・フレーズを選びます。3つの選択肢の中から適切なものを選びます。
	空欄補充(多肢選択)	センテンスを読み、4 つの中から空欄に入る適切な選択肢を選びます。
	多肢選択問題	文章中の空欄に入る適切な語やフレーズを、4つの選択肢の中から選びます。
	空所補充	複数の空所がある短めの文章を読み、空欄に適切な語を書き入れま す。
	長文読解	長文を読み、選択問題に答えます。問題は、パラグラフにそって出 題されます。

- ・同じ画面の中では、一度回答した内容を変更できますが、次の画面に進んだ後に前の画面に戻ることはできません。
- ・どの程度試験が進んでいるかを把握できるように、画面下部に進行状況インジケーターまたはタイマーが表示されるので、時間配分の参考にしてください。

・試験開始時には「サウンドチェックページ」で、ヘッドセットから正しく音が出ているかを確認します。

(1) Listening

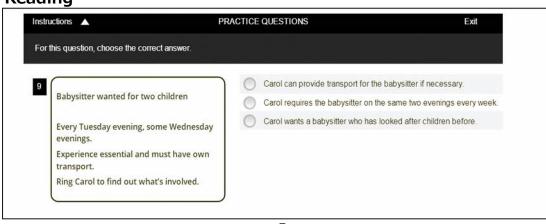




<受検のヒント>

- □問題を聞く際には自分で再生ボタンをクリックします。問題は2回再生できます。
- □再生ボタンをクリックする前に、質問を読み、図または選択肢を確認しましょう。
- □再生をクリックして聴いた後、正しい選択肢を選んで下さい。
- □もう一度聞いて、答えを確認しましょう。

(2) Reading



Instructions A PRACTICE	QUESTIONS Exit			
For these questions, choose the correct answer.				
Best books for 7-year-olds Julia Ecclestone chooses her favourites	21 Julia Ecclestone says the book The Sheep-Pig is			
	a funny book about animals.			
The Sheep-Pig by Dick King-Smith	good for people who like animals.			
This is a story about Babe. Babe is a pig. He lives on a farm. In the story, Babe looks after sheep – like a dog! This book is great for children who love animals.	the best book about animals.			
Charlie and the Chocolate Factory by Roald Dahl This book is about a boy called Charlie. He goes to a	Julia Ecclestone says the book Charlie and the Chocolate Factory is for			
chocolate factory. At the factory, Charlie meets Mr Willy Wonka. Mr Willy Wonka is horrible to Charlie and his friends.	oboys.			
Children will love this story – and adults tool	children and adults.			
Ug by Raymond Briggs	people who love chocolate.			
Ug lives in a world 600,000 years ago - but he is like children today. He asks a lot of questions. For example – why do people wear stone trousers? He makes my children laugh every time.	What does Julia Ecclestone say about Ug?			
Mr Gum and the Biscuit Billionaire by Andy Stanton	He makes her children laugh.			
Mr Gum is not very nice. He hates children and animals. He doesn't do anything for other people. But he loves money -	He is different to children today.			
and he wants lots of it! In the story, Mr Gum tries to take money from a rich person. Children will have fun reading	He likes answering people's questions.			
about the things Mr Gum does. Finn Family Moomintroll by Tove Jansson	Julia Ecclestone says the book Mr Gum and the Biscuit Billionaire			
The Moomins are animals – but they are like people. The Moomins live in a village. In this story, Moomintroll wakes up	teaches children about money.			
room a long winter sleep. He has fun with his friends. This book is a children's favourite all over the world.	is about an unfriendly man.			
your is a children of further all over the world.	shows children how to help people.			

<受検のヒント>

- 口写真や絵のある短い問題では、写真や絵を見ながら文章を読み、正しい選択肢を選びましょう。
- □文章のみの問題では、問題文、質問をよく読み、正しい選択肢を選びましょう。
- □空白・選択肢のある長文問題では、文章を読んだ後、空白部分をクリックして、正しい答えを選択しましょう。
- □空白・選択肢のない長文問題では、文章を読んだ後、空白部分に単語を入力しましょう。

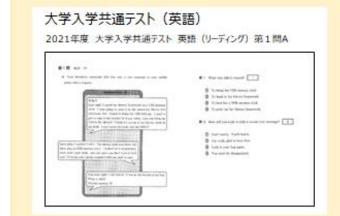
(参考) 必要なテスト環境

必要 PC スペック/インターネット環境の最低条件は以下の通りです(タブレットは不可)。

- · CPU: Processor Pentium III 800 MHz or equivalent
- ・メモリ: 512 MB
- ・ハードディスク空き容量: 4 GB
- ・スクリーン解像度: 1280 x 1024
- ・OS: Windows 7(またはそれ以降), Apple Macs (Google Chrome 使用)
- ・回線速度(下り): 2 Mbps/1名
- ・ブラウザ: Chrome (推奨), Firefox
- ・Adobe Reader: PDF が読み込める最新版
- ・その他:マイク付きヘッドセット (PC 内蔵マイクは不可)、キーボード、マウス

■リンガスキルと大学入学共通テストの親和性

リンガスキルは大学入学共通テストとの親和性が高いため、大学共通テスト対策としてもご活用いただけます。また、読み上げスピードが速くなる「リスニング対策」にも最適です。



携帯電話での友人同士のメッセージのやりとりが題材。「書き手の意図・目的の把握」が問われている。

問われるカ ▶ 情報の読み取り~書き手の意図・目的の把握

リンガスキル(リーディング)の出題



ペピーシッター募集のメッセージが題材。設問では書き手の要求が何 なのかが問われている。

> リーディング・リスニングの多くの問題で 「問われる力」に共通性があります

両者ともに、掲示・広告・表・ラベル・手紙・メールなどの短い文章を題材としており、生徒の学習場面や社会・日常生活で遭遇する可能性の高い場面が想定されている。特に共通テストの第1間Aの間1とリンガスキルのこの設問は、それぞれ書き手の要求が何なのかを尋ねており、「書き手の意図・目的の把握」が問われているといえる。

■リンガスキル お役立ち URL

【リンガスキル HP】 オンラインのサンプルテスト 《無料》 リスニング&リーディング、スピーキング、ライティングの各技能のサンプルテストをオンライン上で実際に体験することができます。

https://www.cambridgeenglish.org/jp/exams-and-tests/linguaskill/preparation/

【リンガスキル HP】 Write & Improve 《無料》

授業や自習で使える英語ライティング学習をサポートする自動フィードバッ クツール「Write & Improve」。 手順は簡単。①トピックを選ぶ②英語で入力する③即座に フィードバックーこの繰り返しで自ら間違いを発見して修正する能力が向上します。 ※PC, タブレット, スマートフォンすべてに対応

https://writeandimprove.com/

【河合塾 HP】 リンガスキル トライアルレポート

AI による自動採点 (Writing) が人間同様のパフォーマンスがあり、自動採点によるスコアは正確かつ信頼できるものであることを検証したケンブリッジ大学検定機構によるレポート。https://www.kawai-juku.ac.jp/cambridge-english/pdf/linguaskill-writing-trial-

report.pdf